

## 安全就業だより

企業対象の安全パトロールを 2 月に実施し、本年度すべてのパトロールを終了しました。除草・剪定パトロールでは、脚立の足場・防護メガネ・安全ベルトの不備が一部見受けられ、企業パトロールでは決して安全でない近道通路を使っているケースが報告されました。

本年度は、就労中の事故が 11 件も起きており、うち 1 件は事務局だよりにてお報せした通り大変悲しく大きな事故でした。安全適正委員会では事故撲滅に向け、25 年度には様々な取り組みを実施していきます。3 月 25 日（月）には、除草・剪定・総合病院職群班を対象に「安全就業合同研修会」を開催します。

シルバー事業	24 年度累計	23 年度計
傷害事故	8	5
賠償事故	3	5
計	11	10

## 【声だし・声掛け】



- ① 就業開始前の自分自身の安全器具の装着は声を出して行う！  
「メガネよし！安全ベルトよし！脚立足場よし！」など
- ② 仲間同士で声を出して注意し合い、安全確認！  
「もっと離れろ！車をどけよう！防護ネットを張ろう！」など  
就業をするうえでの安全確保に仲間うちの遠慮は不要です。就業前でも途中でも仲間うちの誰かが“安全でない行為や危険な行為”をしたら即 声を出して注意しましょう。
- ③ 安全器具の装着不備の仲間には就業させない！  
就業前打合せ時に安全器具や装備に不足・不具合のあった会員は、その日は就業させない。若しくは自宅に取りに帰す。



## 【ヒヤリ・ハットの取り組み】

- ① 就業中にヒヤリとしたこと・ハットしたこと（あ～事故にならなくて良かった等）をメモしておく。
- ② 各自がメモした「ヒヤリ・ハット」を安全適正委員会に提出する。
- ③ 会員に開示・共有することにより会員同士で“危険行為の共有”をする。
- ④ 必要があれば就労先に改善・改良提案をする。

といった取り組みをしていきましょう。「ヒヤリ・ハット」を出すことは恥ずかしいことではありません。自分たちが事前発見した「危険信号」を仲間との共有により、仲間の事故を防ぐことに役立ちます。

## 【事故防止検討会議の開催】

今までは事故が起きた場合、事務局で今後の対策を協議し、理事会・委員会へ報告していました。これからは事故防止検討会議を設け、事故当事者と当該業務担当者も参加して事故原因の解明や再発防止対策について検討していきます。